

完了報告書（平成 22 年度）

提出者 平井 芽阿里

提出年月日 2011 年 3 月 31 日

【プロジェクト名】

和文 名古屋市における沖縄県出身者の「沖縄的实践」に関する文化人類学的考察
-多元主義的アプローチ

英文 Cultural Anthropological Study of “Okinawan Practice” by Uchinanchu living in Nagoya city:
An Pluralist Approach.

【メンバー構成】

研究代表者 平井芽阿里

幹事

メンバー

【ねらいと目的】（600 字程度）

本研究の目的は、沖縄県から名古屋市へ移住した沖縄県出身者の「沖縄的实践」について文化人類学的に考察することである。ここでの「沖縄的实践」とは、県外でも方言を使用し、家庭で沖縄特有の神を沖縄の線香と酒を使用して祀り、死後骨を沖縄に埋葬することなどを示す。さらに、地元では島ごとに異なるアイデンティティを色濃く保持しながらも、県外ではそれまで全く経験のない民俗芸能を「沖縄人」として実践する事例も含む。一つの集団に表象される「沖縄」は必ずしも一様ではなく、この「沖縄」には島ごとの島嶼の差異や、「沖縄料理店」は A 氏が、「エイサー」は B 氏が開始したというような、多元的視点が必要である。さらに、県外で日常的に実践される民俗宗教の実態を故郷との関わりで捉えた研究も多いとはいえないため、本研究では、愛知県における沖縄県出身者を対象とし、「沖縄」と表象されてきたコミュニティ、および家庭内で個人的に実践される民俗宗教を多元的に捉え直し、故郷との連帯も視野に入れた文化人類学的考察を行うことを目的とする。

【活動の記録】

研究会・ワークショップの場合は、開催年月日、報告者と報告題等
調査の場合は、調査年月日、調査者、調査地、調査目的等
その他の活動も含めて、研究期間中の活動について簡潔に記してください。

- ・ 2010 年 6 月愛知の沖縄調査会参加（沖縄県名古屋情報センター）
- ・ 2010 年 6 月沖縄関連の飲食店に関する調査（名古屋市港区）
- ・ 2010 年 7 月愛知の沖縄調査会参加（沖縄県名古屋情報センター）
- ・ 2010 年 7 月沖縄関連の飲食店に関する調査（名古屋市中区）
- ・ 2010 年 10 月愛知県の沖縄関連イベントの調査（名古屋市港区）
- ・ 2010 年 11 月 19 日から 24 日沖縄本島での資料収集（沖縄県公文書館、大学図書館等）
沖縄本島・宮古諸島の宗教儀礼に関する実地調査
- ・ 2010 年 12 月愛知の沖縄調査会参加（沖縄県名古屋情報センター）
- ・ 2011 年 1 月愛知県の沖縄系コミュニティに関する調査（名古屋市内）
- ・ 2011 年 2 月愛知県の沖縄系コミュニティに関する調査（名古屋市内）
- ・ 2010 年 3 月愛知県の沖縄関連イベントの調査（名古屋市港区）

【成果の概要】（800 字程度）

本研究では当初、【ねらいと目的】に記述したテーマを掲げていたが、調査を進める過程で、これまで愛知県の沖縄県出身者に関する研究がほとんどないだけでなく、愛知県の沖縄系コミュニティ（沖縄県出身者によって結成されるコミュニティ）の実態についても把握されていないことがわかった。そこで、本テーマを遂行するための基本的な研究として、愛知県の沖縄県出身者と沖縄系コミュニティについて明らかにすることを最初の目的とした。

本研究では、まず愛知県にどのような沖縄系コミュニティが存在するのか、「愛知沖縄県人会連合会」という組織を中心に、加盟団体も含め明らかにした。他にも「沖縄県名古屋情報センター」、「愛知の沖縄調査会」、「愛知沖縄青年会（『でいごの会』）」などの実態についても調べた。次に愛知県の沖縄県出身者については、1920 年代から 1930 年代の愛知県への出稼ぎ労働者の存在を調べた上で、1960 年代から 1970 年代の本土就職者の実態について「本土就職者名簿」（沖縄県公文書館所蔵）の分析から明らかにした。結果、「トヨタ」というイメージのつきやすい愛知県ではあるが、実際にはトヨタ自動車への就職は 1964 年から始まっており、就職先も紡績、製造業、見習い看護婦、養鶏見習い、バスガイドなど多岐に及んでいたことを明らかにした。また 1970 年から 71 年にかけては、愛知県への本土就職者数は関西、関東の次に多く、静岡、岐阜、三重などの中部日本地区にも多かった点についてもわかった。最後に、愛知の沖縄調査会が刊行した『愛知の中の沖縄』（非売品）を参考資料とし、1910 年から 1960 年にかけて愛知県に移住し定住した沖縄県出身者 10 名、そして聞き取りによる 1 名を事例とし、愛知県への移住経緯と定住の理由について考察を行った。

本研究では、以上の研究を足掛かりとして、名古屋市の沖縄県出身者の「沖縄的实践」として、民俗宗教に関する調査を行い、名古屋市在住の沖縄県出身者が家庭内で沖縄特有の神を祀っている複数の事例も明らかにすることができた。

【通信欄】

（研究代表者記入）

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代	<input type="checkbox"/> 次世代ユニット	<input type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究
経費	予算額	(千円)	実績額